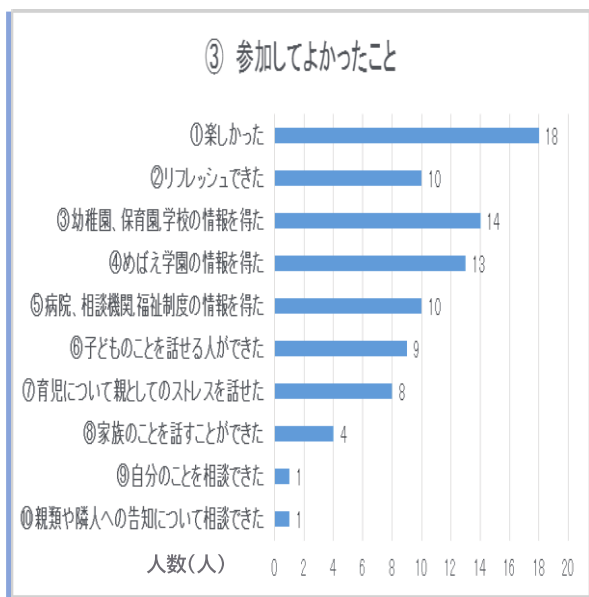


園庭清掃は、作業しながら気軽に会話できるため好評でした。また、コンサートや講座等の受動型の活動よりも、①②③のような参加型の活動が満足度は高いことがわかりました。



③参加してよかったこと



「参加してよかったこと」の自由筆記欄には、以下のような回答がありました。

- 同じような悩みや経験を共感してもらうことができ、自分だけではないと思えた。
- 通園バスの利用時に同じバス停で待ち合わせる方以外とお話できる機会はないので参加できてよかった。
- 先輩保護者の方の貴重なお話を聞くことができ、とても参考になった。



④職員が関わったことでよかったこと

「職員が関わったことでよかったこと」は、以下のとおりです。職員は、保護者の相談相手や調整役に加えて、保護者同士の関わりが進展するように努めました。

- 「相談ができた」 9名
- 「保護者同士が相互に関われるようなサポートがあった」 9名
- 「日程や内容、参加人数等の調整がしやすかった」 8名

5. 考察

当園の保護者は我が子の発達が順調に進まないことや日々の育児に不安を抱いている方が多く、医療や療育、福祉制度等の情報を必要としています。

また、就学を控えて迷いや焦りがあり、進路に関して多様な情報を知りたいというニーズも高いです。

これまで、保護者学習会でこうしたニーズに対応してきましたが、学校や園に関する進路情報や福祉制度については、保護者同士の交流の中で、より身近で細やかな情報を得ることが多いと推測されます。

加えて、幼児期の保護者の多くは、障がい受容の途上にあり、強い子育てストレスを感じています。

今回の取り組みは、保護者の孤立感を軽減し、保護者の仲間づくりとなるソーシャルサポートの役割を果たしたと思われます。

そして、保護者が求める活動を企画・運営・支援できていることに、めばえクリエイションクラブの意義と成果があったと考えます。

今後の課題としては、ニーズがあっても参加できない保護者に対して、就労している保護者が参加できる土日の行事に合わせて茶話会の場を設定する等、参加可能な提案をしていくことが必要と考えています。

6. まとめ

障がい児を育てる家族が我が子の発達段階や特性に応じた関わりができるための育児支援（学習会やペアレント・トレーニング等）と共に保護者が仲間を作り、仲間に支えられて自分の持っている力を発揮するための家族支援も重要です。

これからも、保護者を取り巻く状況を知り、保護者との信頼関係を築き、保護者が主体的に活動していけるような適切な支援の提供に努めていきます。